



東京消防庁災害時支援ボランティア

# ボランティア通信

【第128号】



## 大震災に備え、防災散策



荻窪消防ボランティア

年度活動計画に基づき災害時支援ボランティア活動訓練を実施しました。今回は、消防署周辺の防災散策と名を打ち青梅街道の街路樹を見て、枝の中を通る電線を見て、震災時にどのようなようになるかを危機予測しながら散策しました。消防職員が「街路樹が大地震で揺れ、電線を損傷させる可能性がある」ことを解説すると、ボランティア登録員は、驚き、普段から通っている道をこのような視点で見えていなかったことの感想を述べていました。また、防火水槽や地中ばり水槽の違い、街頭消火器の位置を確認し、広域避難場所の防火樹林及び震災トイレの位置を再確認し、活動を終了しました。

